

ENGLISH TRANSLATION OF JAPANESE UNEXAMINED UTILITY MODEL
PUBLICATION NO. 1995-11545

(11) Utility Model Publication No. 1995-11545

(43) Published on February 21, 1995

(51) Int.Cl.⁵ B 65 D 25/22

(21) Utility Model Application No. 1993-41589

(22) Filed on July 29, 1993

(71) Applicant : Kabushiki Kaisha Yamamon
7-15, 1-chome, Nagae naka, Kita-ku,
Osaka

(72) Creator of the device : Masaki YAMASHITA
25-2, 6-chome, Onohara higashi,
Minoo-shi, Osaka

(74) Attorney : Osamu KITAMURA

(54) [Title of the Device] Container with Strap

(57) [Abstract]

[Structure] A strap 1 made from an extruded thermoplastic resin film or sheet is attached to a container 2 in such a manner that the direction crossing the extrusion direction of the thermoplastic resin film or sheet is aligned with the longitudinal direction thereof.

[Effects] Since a short strap that can be extended when used is attached to a container, the strap can be handled with ease during the production, transport and filling of the container. Further, at the time of use, the strap can be extended to a necessary length and thus it is unlikely that an excessive length of strap would hamper the use.

[Claim]

[Claim 1] A container with a strap, comprising a strap (1) made from an extruded thermoplastic resin film or sheet, the strap being attached to a container (2) in such a manner that the direction crossing the extrusion direction of the thermoplastic resin film or sheet is aligned with the longitudinal direction thereof.

[Brief Description of the Drawings]

[Fig. 1] A perspective view

[Fig. 2] A perspective view showing a state of use

[Fig. 3] A perspective view showing a second example

[Fig. 4] A perspective view showing a third example

[Fig. 5] A perspective view showing a state of use of the third
example

[Explanation of Numerals]

1 Strap

2 Container

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11) 実用新案出願公開番号

実開平7-11545

(43) 公開日 平成7年(1995)2月21日

(51) IntCl.⁸

B 6 5 D 25/22

識別記号

庁内整理番号

C 7403-3E

F I

技術表示箇所

審査請求 有 請求項の数 1 O L (全 2 頁)

(21) 出願番号 実願平5-41589

(22) 出願日 平成5年(1993)7月29日

(71) 出願人 000138417

株式会社ヤマモン

大阪府大阪市北区長柄中1丁目7番15号

(72) 考案者 山下 正樹

大阪府箕面市小野原東6丁目25-2

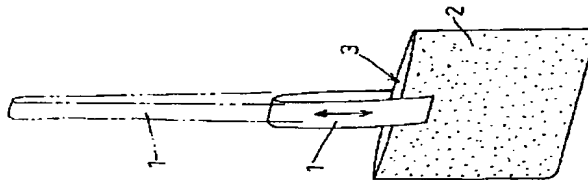
(74) 代理人 弁理士 北村 修

(54) 【考案の名称】 紐付容器

(57) 【要約】

【構成】 押し出し成形された熱可塑性樹脂フィルム又はシート製の紐1を、その熱可塑性樹脂フィルム又はシートの押し出し方向に対して交差する方向をその長手方向に沿わせて容器2に設けた。

【効果】 使用時に引き伸ばすことのできる短い紐を容器に設けておけば良いので、紐付容器の製造或いは運搬、更には容器内への内容物の装填等の際には、紐の取扱いが煩雑にならず、しかも、その使用に際しては、紐を必要な長さに引き伸ばして使用できるので、余分な紐が邪魔になることが少ない。



1

2

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 押し出し成形された熱可塑性樹脂フィルム又はシート製の紐（1）が、前記熱可塑性樹脂フィルム又はシートの押し出し方向に対して交差する方向をその長手方向に沿わせて容器（2）に設けられている紐付容器。

【図面の簡単な説明】

【図1】斜視図

【図2】使用状態を示す斜視図

【図3】第2実施例を示す斜視図

【図4】第3実施例を示す斜視図

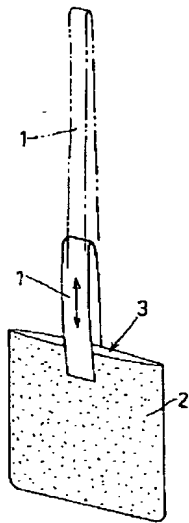
【図5】第3実施例の使用状態を示す斜視図

【符号の説明】

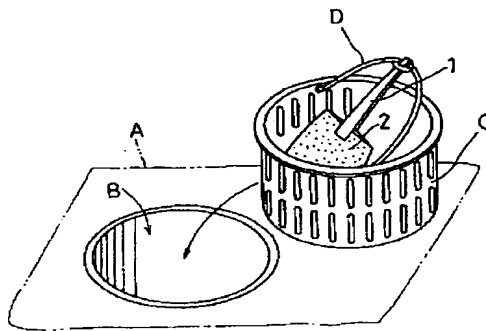
1 紐

2 容器

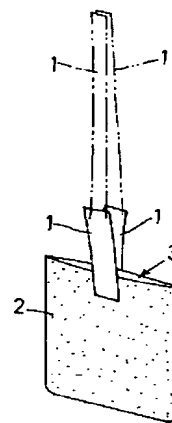
【図1】



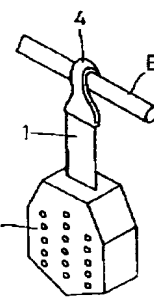
【図2】



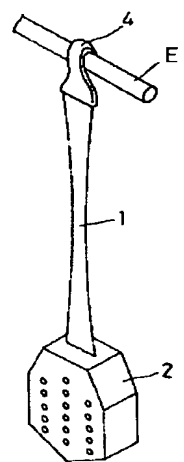
【図3】



【図4】



【図5】



【考案の詳細な説明】**【0001】****【産業上の利用分野】**

本考案は、例えば、汚水処理剤や乾燥剤、防虫剤等の内容物を装填した容器を所望の位置に設置できるよう、適当な場所に縛り付けたり、吊り下げたりしておくための紐が当該容器に設けられている紐付容器に関する。

【0002】**【従来技術】**

冒記紐付容器は、設置場所によっては長い紐が必要な場合と短い紐で十分な場合とがあり、従来、いずれの場合にも極力対応できるよう、比較的長い一定長さの紐が予め容器に設けられている。

【0003】**【考案が解決しようとする課題】**

この為、紐付容器の製造或いは運搬、更には容器内への内容物の装填等に際して、比較的長い紐が邪魔になってその取扱いが煩雑になる欠点がある。

又、この紐付容器の使用に際して、設置場所によって紐が長すぎるような場合、余った紐が邪魔になることもある。

更に、容器を紐で所望の高さ位置に吊下げておきたいような場合には、紐の長さを予め調節する必要があり、吊下げ場所によっては吊下げに必要な長さの紐を確保できないおそれが生じ易いとともに、一旦吊り下げた後で、容器の高さ位置を下げる必要が生じた場合には、吊下げ作業を再度やり直さなければならない欠点もある。

本考案は上記実情に鑑みてなされたものであって、容器に設けられる紐構造を工夫することにより、その製造或いは運搬、更には容器内への内容物の装填等に際しては、紐の取扱いが煩雑にならず、その使用に際しては、余分な紐が邪魔になることが少ない紐付容器を提供することを目的とする。

【0004】**【課題を解決するための手段】**

上記目的を達成するための本考案による紐付容器の特徴構成は、押し出し成形

された熱可塑性樹脂フィルム又はシート製の紐が、前記熱可塑性樹脂フィルム又はシートの押し出し方向に対して交差する方向をその長手方向に沿わせて容器に設けられている点にある。

【0005】

【作用】

熱可塑性樹脂フィルム又はシートの押し出し方向に対して交差する方向は、その製造時に延伸される率が押し出し方向に比べて低いから、延伸性に富んでおり、使用時に、その紐を所望の長さに引き伸ばすことができる。

【0006】

【考案の効果】

従って、使用時に引き伸ばすことのできる短い紐を容器に設けておけば良いので、紐付容器の製造或いは運搬、更には容器内への内容物の装填等に際しては、紐の取扱いが煩雑にならず、しかも、その使用に際しては、紐を必要な長さに引き伸ばして使用できるので、余分な紐が邪魔になることが少ない。

殊に、容器を紐で所望の高さ位置に吊下げておきたいような場合には、その紐で容器を吊り下げてから、その紐を引き伸ばしながら容器を所望の高さ位置に押し下げれば良く、紐の長さを予め調節する必要がないとともに、吊下げに必要な長さの紐を確保し易く、一旦吊り下げた後で、容器の高さ位置を下げたい場合でも、吊下げ作業を再度やり直すことなく、紐を更に引き伸ばす操作で簡便に対応できる効果もある。

【0007】

【実施例】

〔第1実施例〕

図1は紐付容器を示し、紐の一例としての長さ200ミリメートル程度の一本のポリエチレンフィルム製テープ1の両端部を、容器の一例としての多数の小孔が形成されているポリエチレンフィルム製袋2の開口部3を挟む両側に熱融着してアーチ状に設けてある。

前記テープ1は、インフレーション法で下向きに延伸しながら押し出し成形された0.1ミリメートル程度の厚みのポリエチレンフィルムを、その製造時に延

伸される率が押し出し方向に比べて少ない、押し出し方向に対して略直交する方向（図中矢印で示す）に沿って 20 ミリメートル程度の幅に切断して構成してあり、その長手方向に沿って最大で 600 乃至 700 % 程度の引っ張り伸び率を有している。

前記袋 2 には、台所の流し台 A の排水口 B にぬめりが発生することを防止するための固形の汚水処理剤が装填され、図 1 の仮想線で示すように、テープ 1 を所望の長さに引き伸ばしてから、排水口 B から取り出した排水バスケット C の持ち手 D に当てつけ、持ち手 D を挟んでテープ 1 の輪の中に袋 2 を挿通して、図 2 に示すように当該持ち手 D に縛り付け、排水バスケット C の中に設置される。

【0008】

〔第 2 実施例〕

図 3 は紐付容器の別実施例を示し、第 1 実施例と同様に構成した二本のポリエチレンフィルム製テープ 1 各々の一端部を、ポリエチレンフィルム製袋 2 の開口部 3 を挟む両側に熱融着してある。

そして、図 3 の仮想線で示すように、これら二本のテープ 1 を所望の長さに引き伸ばしてから、これらのテープ 1 が排水バスケット C の持ち手 D に結び付けられる。

その他の構成は第 1 実施例と同様である。

【0009】

〔第 3 実施例〕

図 4 は紐付容器の別実施例を示し、第 1 実施例と同様に構成した一本のポリエチレンフィルム製テープ 1 の一端部が箱形の容器 2 に固定されているとともに、このテープ 1 の他端部には吊下げ用のフック 4 が取り付けられ、容器 2 には乾燥剤や防虫剤等の固形の薬剤が装填されている。

前記テープ 1 は、容器 2 及び内容物の重さ程度では伸びにくい所定の厚みと幅を備え、フック 4 で適当な支持部材 E に吊り下げた後、テープ 1 を引き伸ばしながら容器 2 を押し下げ、図 5 に示すように、当該容器 2 を所望の高さ位置に吊り下げておくことができる。

その他の構成は第 1 実施例と同様である。

【0010】

〔その他の実施例〕

1. フィルムに比べて厚みが厚い所謂シート製の紐であっても良い。
2. 紐はTダイ法で押し出し成形された熱可塑性樹脂フィルム又はシート製であっても良い。
3. 熱可塑性樹脂フィルム又はシートの押し出し方向を分方向として含む方向を、その長手方向に沿わせて容器に設けられていても良い。
4. 紐はテープ状の紐に限定されず、例えば、熱可塑性樹脂フィルム又はシートを縄状に編んだものであっても良い。
5. 熱可塑性樹脂の種類は特に限定されず、ポリプロピレンやポリ塩化ビニル等であっても良い。
6. 紐が設けられている容器としては、袋や箱の他、内容物を装填可能であれば籠状或いはざる状の容器であっても良く、その材質は特に限定されない。
7. 容器内に装填される内容物は薬剤等に限定されない。

【0011】

尚、実用新案登録請求の範囲の項に図面との対照を便利にするために符号を記すが、該記入により本考案は添付図面の構成に限定されるものではない。